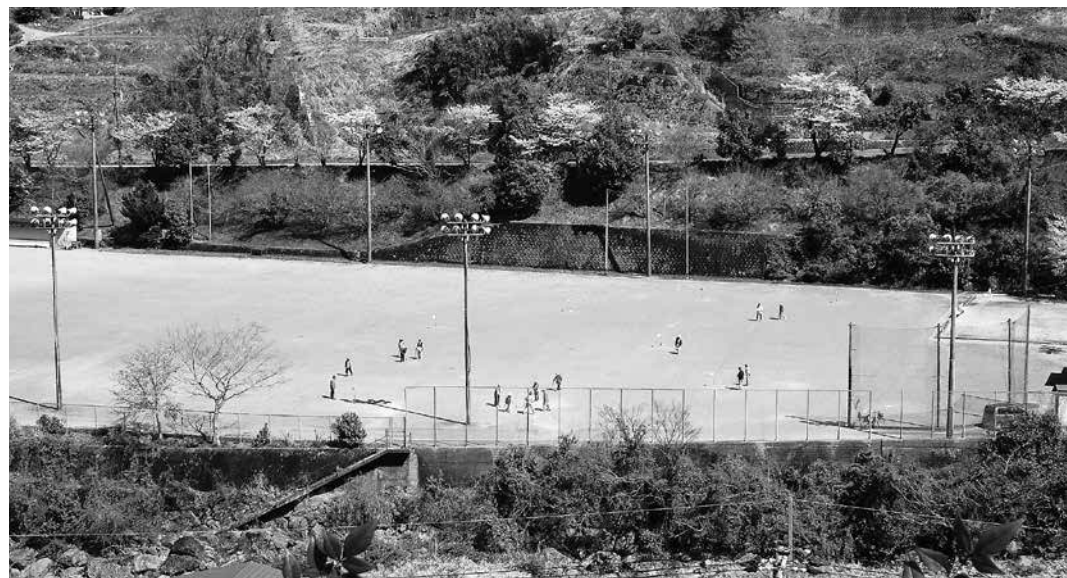
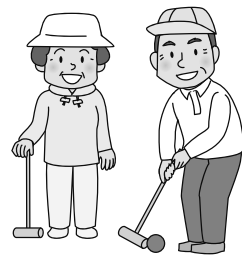




町道補修



大杉農村広場

今回の選挙において、改めて町内が広い



佐々木文三
議員

ことに気付かされたが、町道において整備されていない箇所が多くある。本町の町道は適切に管理されているか。

▼岩崎憲郎町長
町内500kmを超える道路を管理する中で、町民の皆さんの協力のもと管理しているものと、業者に依頼して管理しているものがあり、順次、修繕・補修を行い安全で安心して通行できるよう取り組む。

QA 9

問 町道の管理を問う

答 修繕・補修に取り組んでいる

QA 10

問 農村広場周辺の整備計画は

答 一体的に整備する

▼佐々木文三議員

中学校のグラウンドに小学校を建設し、農村広場に給食センターと保育所を建設すると聞いたが、高齢者が楽しみで行っているグラウンドゴルフがなくなるのではないか。

▼池添修一教育長

小学校と給食センターは大豊町中学校のグラウンドに一体的に建設し、農村広場の一部に保育所を建設する計画であり、今までどおりの併用となる。

ないか。

▼岩崎憲郎町長

福寿草まつりが再開されたことは、地域のコミュニティを次の世代に繋いでいくためにも大切な活動であり、町としても他のイベントと同様に共に取り組む気持ちでサポートをしていく。

▼小笠原妙子議員

町内の各地域で行われているイベントへの町職員の参加について問う。職員は本町を元気にしようという気持ちがあるのか。

▼岩崎憲郎町長

本町は職員による地域担当制を実施しており、職員全員で地域を元気にするため考え、取り組みを進めている。

QA 7

問 高齢者等交通弱者への選挙対策を問う

答 高齢者等の足の確保に努める

▼小笠原妙子議員

先日の町議会議員選

挙において、投票率が前回よりも低くなって



投票所

いるが、少しでも投票所に足を運んでもらえるよう、高齢者等交通弱者への対策を模索し、投票率の改善を図るよう要望する。



小笠原征太郎
選挙管理委員長

投票率は全国的に低下の傾向にあり、本町でも投票の啓発や臨時に町民バスを運行するなど対策はしているが、投票率アップには結びついていない。

今後、投票管理者や立会人の確保も困難になる場合が生じる可能性もあるので、高齢者の足の確保に努め、移動投票所も検討していく。

QA 8

問 町民の日のイベントをどう推進するのか

答 共に取り組む

▼小笠原妙子議員

今年で3回目を迎える町民の日を祝う会は、4月21日に開催することとなっている。地元有志の方による町民の日を祝う実行委員会が主催しているが、やはり町民の日のイベントであり、今後は町主催の行事として位置づけできないか。

▼岩崎憲郎町長

町民の日の行事は、町民の皆さんが自らの企画で自ら取り組んでいる。今年は、れいほく博のプレイベントとして位置づけるなど、今までどおり共に取り組む姿勢でサポートしていく。

▼小笠原妙子議員

町民の日としてのイベントなので、町の一つの行事として実施することを考えることはできないか。

老若男女、全ての住民が参加できる町づくりを目指し、本町に住んで良かったと思える地域政策を要望する。

▼岩崎憲郎町長

町民の皆様の意見を聞きながら取り組むことが必要であり、質問の町民の日のイベントについては、町民主体のイベントと理解している。